



わかたけ



春日部市立武里小学校
児童数 504名
令和6年4月26日発行

令和6年度入学式



4月9日(火)に入学式を行いました。83名の1年生が、新たに武里小学校の児童として仲間入りです。6年間よろしくお願いたします。保護者の皆様もご参列ありがとうございました。

子育てにおける大人の役割とは？

校長 加納 敏幸

乳児はしっかり、肌を離すな
幼児は肌を離せ、手を離すな
少年は手を離せ、目を離すな
青年は目を離せ、心を離すな

これは、アメリカンインディアン(ネイティブアメリカン)の言葉で、子育て四訓とされているものです。

この四訓は、私達の子育てにとても通じる教えである。私は捉えています。学校にいる大人は、教職員。子供から見ると“先生”と呼ばれ、指導・支援を行います。家庭にいる大人は保護者の皆様。保護者様は、親の立場で我が子の成長のために一生懸命に子供を支えていただいています。地域にいる大人は、地域の皆様。教職員、保護者とは違う立場で、地域の一員である子供達を見守り支えています。

さて、それぞれの立場で、この四訓の達成状況はどうでしょうか。大切な子供やかわいい子供を思うあまり、子供に任せず手を出してしまうことはないでしょうか。学校生活では、児童の発達段階に応じて、指導・支援をしています。時には、教職員は子供に任せることが必要です。児童の指導・支援では、待つことは大切な場面です。

本校では、算数科を中心に主体的な学びにつながる授業改善に取り組んでいます。主体的な学びの実現には、教師中心の授業から、子供中心の授業にすることが重要です。端的に言うと、教員が話し過ぎず、子供達にじっくり考えさせること。しかし、教員の方が待ちきれず、教員が指導することを重視するあまり、教え過ぎてしまう点を改善しなければなりません。教員は指導することを重視するあまり、教え過ぎてしまう点を改善しなければなりません。子供達の日常生活で振り返ってみます。例えば、朝の着替えや登校準備、食事の時はどうでしょうか。子供達が懸命に解決しようとする場面を地域や近所で目にした時はどうでしょうか。四訓にある“離せ”ができていますでしょうか。

“離せ”とは異なりますが、私は「親心」という言葉を思い浮かべます。「親心」とは子を思う親の愛情という意味があります。子を思う教職員の愛情。子を思う地域住民の愛情。「親心」のように大人の過剰な関わりは、子供自身が受け取るべき大切な成長の機会をなくしてしまうことにもつながります。“離せ”をキーワードに、それぞれの立場で、子供への接し方や距離感について、見直してみたいと思います。もちろん、“離せ”と対極にある“離すな”を忘れないようにしたいものです。

[アメリカンインディアンの教え11カ条]

- ・批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします
- ・敵意に満ちた中で育った子は、誰とでも戦います
- ・ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります
- ・ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります
- ・心が寛大な中で育った子は、がまん強くなります
- ・励ましを受けて育った子は、自信を持ちます
- ・ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります
- ・公明正大な中で育った子は、正義心を持ちます
- ・思いやりのある中で育った子は、信仰心を持ちます
- ・人に認められる中で育った子は、自分を大事にします
- ・仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます

令和の時代でも大人の子育てに通じる、大切な教えではないでしょうか。



1年生がんばっています



【1年生を迎える会】

2年生から6年生がかわいい1年生を迎えて心温まる、「1年生を迎える会」を行いました。昨年度のわかたけ委員の子供たちも大活躍でした。各学年から歓迎の言葉や招待状、アサガオの種等プレゼントを1年生はいただきました。



【給食開始】

給食が始まりました。先生に教えてもらいながら配膳や片付けを頑張っています。おいしい給食いただきます！



【学習の様子】

体育では、鉄棒・タイヤ跳び・登り棒・雲梯・滑り台など様々な動きを体験できる運動を行っています。みんな元気よく活動できています。



【算数】

10までの数の学習です。5は2と3、1と4など数の組み合わせについて学んでいます。分からない時は、先生に質問するといいですね。



交通安全教室を実施しました

1年生、3年生を対象に交通安全教室を実施しました。春日部警察署の警察官2名、交通指導員さん5名市役所くらしの安全課の2名の計9名の方をお迎えして、交通安全について指導をしていただきました。

1年生は、横断歩道の渡り方を学びました。指さし確認で「右」「左」「右」「信号」と声をそろえて渡ることができました。

3年生は、「ぶたべるさはら」という合言葉を使って自転車の点検方法を学びました。また、自転車の正しい乗り方についても学びました。

児童が自転車に乗る場合は、ヘルメット着用が保護者様の努力義務となっております。これから、ゴールデンウィークになります。出かける機会も増えてきます。

事故に遭わないよう、お声掛けをお願いいたします。

